

授業科目名	特別活動指導法	必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目)					
サブタイトル	学級活動、生徒会活動、学校行事の指導方法	担当者	関 巖			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>1. 教育課程における特別活動の目的と位置づけについて学ぶ。2. 特別活動を構成する学級活動、生徒会活動、学校行事における教育的意義とその指導方法について学ぶ。3. 特別活動の取り扱いを理解し、学級担任あるいは校務分掌の担当者として指導計画案の作成や実践的指導について学ぶ。4. 評価について学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <p>上記内容について十分理解することとする。</p>					
履修条件	本気で教職を目指す者に限る					
教科書・参考書	<p>【教科書】随時担当教員から指示をする</p> <p>【参考書】</p>					
授業回数	内容					
1	特別活動の概要(教育的意義、目的)					
2	特別活動の構成(学級活動、生徒会活動、学校行事の概要)					
3	特別活動の内容Ⅰ(学級活動と学級担任の役割)					
4	特別活動の内容Ⅱ(生徒会活動と顧問の役割)					
5	特別活動の内容Ⅲ(学校行事と担当教師の役割)					
6	特別活動の計画Ⅰ(学級活動の指導計画と運営)					
7	特別活動の計画Ⅱ(生徒会活動の指導計画と運営)					
8	特別活動の計画Ⅲ(学校行事の指導計画と運営)					
9	特別活動の実践Ⅰ(中高等学校の学級活動の指導実践)					
10	特別活動の実践Ⅱ(中高等学校の生徒会活動の指導実践)					
11	特別活動の実践Ⅲ(中高等学校の学校行事の指導実践)					
12	特別活動と教科指導との関係					
13	特別活動と生徒指導との関係					
14	特別活動の評価(評価と実践)					
15	特別活動の評価(評価と実践)授業回数					
評価方法	定期試験およびレポートを主とし、授業の参加度を加味して評価する					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	特になし					